

みずほCustomer Desk Report 2023/04/04 号 (As of 2023/04/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	133.12
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	133.34	1.0803	143.86	1.2287	0.6658
SYD-NY High	133.75	1.0916	144.93	1.2424	0.6790
SYD-NY Low	132.21	1.0788	143.65	1.2275	0.6652
NY 5:00 PM	132.48	1.0903	144.34	1.2417	0.6787
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,601.15	327.00	日本2年債	▲0.0400%	0.0200%
NASDAQ	12,189.45	▲ 32.45	日本10年債	0.3600%	0.0400%
S&P	4,124.51	15.20	米国2年債	3.9686%	▲0.0680%
日経平均	28,188.15	146.67	米国5年債	3.5054%	▲0.0774%
TOPIX	2,017.68	14.18	米国10年債	3.4142%	▲0.0582%
シカゴ日経先物	28,270.00	0.00	独10年債	2.2410%	▲0.0585%
ロンドンFT	7,673.00	41.26	英10年債	3.4265%	▲0.0610%
DAX	15,580.92	▲ 47.92	豪10年債	3.3040%	▲0.0250%
ハンセン指数	20,409.18	9.07	USDJPY 1M Vol	12.87%	▲0.07%
上海総合	3,296.40	23.54	USDJPY 3M Vol	11.81%	▲0.26%
NY金	2,000.40	14.20	USDJPY 6M Vol	11.21%	▲0.24%
WTI	80.42	4.75	USDJPY 1M 25RR	▲2.01%	Yen Call Over
CRB指数	271.34	3.61	EURJPY 3M Vol	11.73%	▲0.40%
ドルインデックス	102.09	▲ 0.41	EURJPY 6M Vol	11.34%	▲0.30%

東京	東京時間のドル円は133.34レベルでオープン。早朝はOPECが急遽原油減産を発表したことで、原油が急速に上昇、ドル円も買い優勢の展開。その後、仲値にかけて原油が下落に転じたことに加え、実需の売りも入り132.80台近辺まで下落。売り一巡後は、米金利上昇に追随する形で上昇、133.70レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、133.70レベルでオープン。期末のドル需要や原油高による円売りが一服し、米金利下落を背景に132.87まで売られ、結局132.91レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0807レベルでオープン。OPECによる減産報道で下落していたものの、ECBの利上げ長期化が意識される中で1.0878まで一本調子で回復し、1.0877レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台後半でスタート。アジア時間ではOPECの原油減産発表を受け、原油価格が上昇する中、インフレ長期化から利上げが続くとの思惑が強まりドル買いが先行し133.58まで上昇。その後、実需の売りもあり反落するも、米金利上昇に伴い海外時間高値の133.75まで値を上げる。買い一巡後、じり安で推移し132.91レベルでNYオープン。朝方に発表された米3月ISM製造業景況指数と米3月ISM支払価格が予想を下回り、前月比でも減少傾向にあることから、米インフレ減速及び経済後退が懸念され、ドル売りが加速し132.21まで急落。午後は新規材料を欠く中、132.40付近を挟んだレンジ推移が続き、結局132.48でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。アジア時間では先述の原油減産発表を受けてドルが買われたことから1.0789まで下落。しかし、欧州勢参入後には欧州通貨の買いが強まり1.0872まで反発後、1.0877レベルでNYオープン。朝方は米経済指標発表にドル売りで反応したことから1.0916まで上伸。その後1.0879まで反落する場面も見られたが、午後は米金利が伸び悩む中じり高で推移し、再び1.09台を付け1.0903レベルでクローズ。

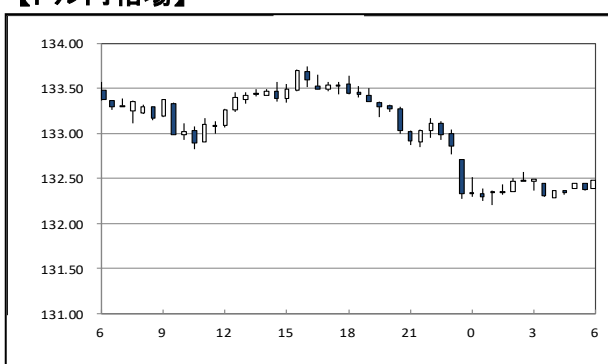
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月3日	16:55	独 製造業PMI・確報	3月 44.7	44.4
	17:00	欧 製造業PMI・確報	3月 47.3	47.1
	22:45	米 製造業PMI・確報	3月 49.2	49.3
	23:00	米 建設支出(前月比)	2月 -0.1%	0.0%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	3月 46.3	47.5
	23:00	米 ISM支払価格	3月 49.2	51.1

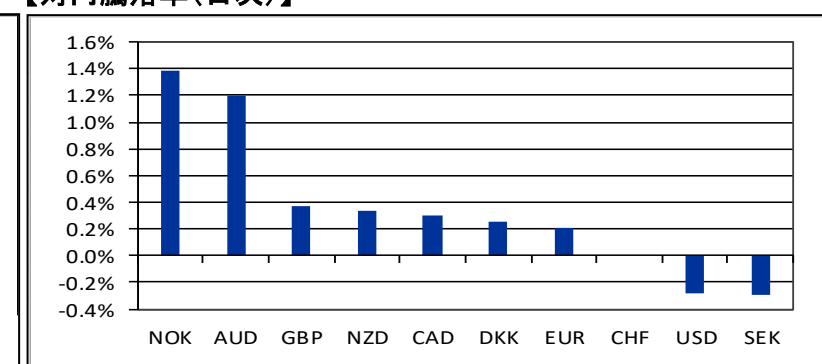
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月4日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	4-Apr 3.6%	3.6%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月 -0.5%/13.3%	-2.8%/15.0%
	23:00	米 製造業受注(前月比)	2月 -0.5%	-1.6%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	2月 0.0%	1.2%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	2月 -1.0%	-1.0%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	2月 0.0%	0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.00-133.00	1.0850-1.1000	143.50-146.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は133.34レベルでオープン。早朝にOPEC+が原油減産を発表したことに伴う、インフレの長期化懸念からドル買いが優勢となり133円台後半まで上昇。その後、海外時間に入り発表された米3月ISM製造業景況指数の軟調な結果を受けたりセッション懸念を背景に金利低下、ドル売りが強まるとドル円は132.21まで下落。結局132.48レベルでクローズ。依然として市場に金融不安が燦々していることや、前日のISM製造業景況指数の軟調な結果を受けたりセッション懸念を受け、ドル円は上値重い推移が基本線。ただ本日は、今週に発表を控える米3月ISM非製造業景況指数や雇用統計の結果を見極めたい様子が強く値幅は限定的か。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・木村